

# 平成29年度 「国有林モニターアンケート（第2回）」 調査結果

近畿中国森林管理局では、国有林モニターにご登録いただいている皆さまから、今後の国有林野の管理経営や広報活動の参考にさせていただくために、以下のアンケートにご協力いただきました。

## I 平成28年度国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況について

「平成28年度国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」は、国有林野の管理経営に関する基本的な事項を明らかにするため、「国有林野の管理経営に関する法律」により、あらかじめ国民の意見を聴いた上で策定した「国有林野の管理経営に関する基本計画」に基づき、国有林野の管理経営の取組の実施状況について国民の皆様にご理解を頂けるよう、写真と図表を用いてできるだけ分かりやすく記載したものです。

今回のアンケートはこの冊子をご覧ください、興味をひかれたものなどについてお答えいただきました。

※「平成28年度国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」は、以下のWebページをご覧ください。出来れば、[http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu\\_rinya/jissi/jyokyo\\_2016/index.html](http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/jissi/jyokyo_2016/index.html)

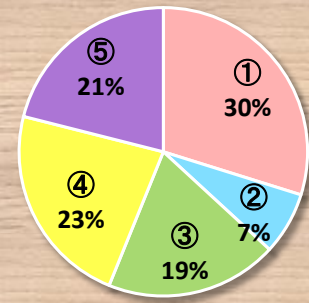
目次については以下のとおりです。

平成28年度の実施状況の概要について	1
1 国有林野の管理経営に関する基本方針に基づく管理経営の推進	6
(1) 公益重視の管理経営の一層の推進	7
① 重視すべき機能に応じた管理経営の推進	7
ア 国有林野の機能類型区分	7
イ 機能類型区分に応じた森林施業等の実施	11
② 路網の整備	13
③ 治山事業の実施	15
④ 地球温暖化対策の推進	19
⑤ 生物多様性の保全	23
(2) 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献	25
① 低コスト化を実現する施業モデルの展開と普及	25
② 林業事業体の育成	29
③ 民有林と連携した施業の推進	31
④ 森林・林業技術者等の育成	33
⑤ 林業の低コスト化等に向けた技術開発	35
(3) 国民の森林としての管理経営	37
① 双方向の情報受発信	37
② 森林環境教育の推進	39
③ 森林の整備・保全等への国民参加	43
ア NPO等による森林づくりや森林保全活動の支援	43
イ 木の文化を支える森づくり	44
ウ 分収林制度による森林づくり	47
2 国有林野の維持及び保存	50
(1) 森林の巡視、病虫害の防除等適切な森林の保全管理	51
① 森林の巡視及び境界の保全	51
② 森林病虫害の防除	53
③ 鳥獣被害の防除	55
(2) 「保護林」など優れた自然環境を有する森林の維持・保存	59
① 「保護林」の設定及び保護・管理の推進	59
② 「緑の回廊」の整備の推進	63
③ 希少な野生生物の保護の推進	65
④ 地域やNPO等との連携による保護活動の推進	67
⑤ 環境行政との連携	67
3 国有林野の林産物の供給	70
(1) 林産物等の供給	71
(2) 国産材の安定供給体制の構築に向けた貢献	77
4 国有林野の活用	80
(1) 国有林野の活用の適切な推進	81
(2) 公衆の保健のための活用の推進	83
5 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる 民有林野の整備及び保全	86
6 国有林野の事業運営	90
(1) 民間委託の推進	91
(2) 情報システムの活用	93
(3) 計画的かつ効率的な事業の実行	95
(4) 安全・健康管理対策の推進	95
7 その他国有林野の管理経営	98
(1) 人材の育成	99
(2) 地域振興への寄与	101
(3) 東日本大震災からの復旧・復興への貢献	105
(4) 関係機関等との連携の推進	109

1 国有林野の管理経営に関する基本方針に基づく管理経営の推進(P6～P49)

(単位:人、%)

質問1 (1) 公益重視の管理経営の一層の推進(P7～P24)の中で最も興味をひかれたものは何ですか。			
①	重視すべき機能に応じた管理経営の推進(P7～P12)	17	30%
②	路網の整備(P13～P14)	4	7%
③	治山事業の実施(P15～P18)	11	19%
④	地球温暖化対策の推進(P19～P22)	13	23%
⑤	生物多様性の保全(P23～P24)	12	21%
計		57	1名無回答



【各選択肢ごとの興味をひかれた理由やご意見等】

①	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆国有林の現況が分かりやすく記載されている。</li> <li>◆P8の分布図が興味深かった。</li> <li>◆「広葉樹の導入」が興味深いです。日本の心情によるのか皆伐をしたくなるか、多様な樹種か、多様な育ち方をしているおおらかな山が好きです。</li> <li>◆熊本地震や先日の台風など、災害が多い日本において、国有林野の管理経営に対する考え方が非常にわかりやすく説明されているので、興味を持ってました。</li> <li>◆タイプに応じた対応、管理運営が求められるから。</li> <li>◆森林経営の基本事項であり、他の項目を確実に、そして実りあるものに推進するするうえで、必要、重要事項と考える。</li> <li>◆国有林に様々な機能があることを知らなかったので勉強になった。もっと周知させていきたい。</li> <li>◆自然災害(地震、台風、集中豪雨)への対応に少し安堵感あり。逆に事前の治山事業(災害防止)の重要度を痛感す。</li> <li>◆目指すべき方向性を一致させることは大事。「現状分析」目指すべき森林の姿が点在しているのでは・・・面でとらえられたらもっと効率的だと思う。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆林道に興味を持っているため。</li> <li>◆林道も色々なことを考えられてつくられた道なんだと初めて知りました。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆災害を軽減させることが人命にかかわることなので。</li> <li>◆災害が起きたときの復旧経費と維持・整備費の割合？</li> <li>◆どれも重要なものだと思うが、毎年のように大きな災害が起きている現状を見ると、国有林と民有林が一体化した治山事業に取り組む必要があると思います。</li> <li>◆熊本地震での復旧は、国交省のイメージが強くて感じていましたが、森林管理局がされている治山は非常に良いと思います。官庁、省庁と分けず、全体で取り組む(壁をとりはらう)ことをしてほしいと思います。</li> <li>◆どれも興味深かったですが、③は国を守る、命を守るという壮大な目的があるので、特に気になりました。</li> <li>◆安全で安心した暮らしの確保は大切だから。</li> <li>◆人々の安全安心生活保護の為に治山施設の長寿命化を図るため等の事に、効果的、効率的に取り組んでいることに興味を持ちました。</li> <li>◆最近では全国的に大規模災害が頻発している。民有林も視野に入れ放置林なども積極的に取り組んでほしい。</li> <li>◆治山施設の維持管理が適切になされていなかったという印象を受けました。ダム建設の過程で災害で発生した土石等が使われている工夫に感心しました。</li> </ul>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆今、世界が取り組まなければならないことだから。</li> <li>◆地球温暖化が本当に進んでいるのか？もしそうなら本当にCO2が原因なのか？と真に実証しない限り、対策は疑問です。</li> <li>◆間伐材の有効利用、積極的な利用を進めていただきたい。木材を利用する場所はまだまだあると思います。</li> <li>◆間伐材等の有効利用していること。</li> <li>◆写真、説明がわかりやすく感じました。林業の専門性が弱いものでも、パツと興味をひきやすい記事と思いました。</li> <li>◆現代は、やはり地球温暖化対策の推進に1番力を入れるべきだと思います。国有地である山林などは、そういった意味でも大切に育てなければなりません。</li> <li>◆防潮護岸工事に木材を利用している事例に興味をひいた。近場でこのような工法を見たことがない。写真で見ると、コンクリートのような無機質の光景ではなく、背後の防災林とも調和している。耐久性がどうなのか気がかりだが、木材利用の視点からは素晴らしい工法だと思う。</li> <li>◆日本は四季があり山紫水明のある美しい国で緑豊かである事は喜ばしい限りです。森林の酸素とCO2の関係は聞いてはいますが、削減目標の2.7%以上を森林吸収率でまかなうというのにはどのような計算式なのか理解できない。人工林でも雑木林でも同じではないかととも感じる。来年、モニター会議に出席出来たらいろんな疑問、質問を聞きたいものです。</li> </ul>
⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆保全について、地域やNPO、ボランティアとの連携については、積極的に活用してほしいと思います。全国森林インストラクターの活用など。</li> <li>◆ボランティアとの連携について、一行(P23)しか記載が無いが、(P24, 55, 65付記)どのようなことが行われているのかももう少し知ればと思う。</li> <li>◆治山、植林、木材生産等が主な管理・経営だというイメージが強かった。生物多様性の保全を図る重要な位置を占めているという認識が薄く意外だった。</li> <li>◆なつかしい小清水の自然も大変なことになっている事を知りました。大変ですが、頑張ってください。</li> <li>◆他の事柄・課題についても興味はあるが、やはり「生物多様性の保全」については、そのような取り組みを森林管理局が行っていることを知らなかったのが、最も興味をひいた。国有林野の管理経営は、ただ樹木だけに限ると思っていたため、植生の回復のためにも取り組みがなされていることに驚いた。また、小清水原生花園での事業は広大な国有林野で20年以上も継続され、植生の回復傾向をもたらしていること。将来を見据えた着実な取り組みに頭が下がる思いを持った。紹介されている火入れ作業、在来植物の咲く写真からは地道な努力と成果が読み取れる。それに地域の方々等との協同・連携した森林の整備・保全活動の実施の方向は、積極的に進めてほしいと思った。</li> <li>◆北海道の小清水原生花園風景回復事業にあるように、これからは生物多様性の保全をするために、行政担当者のみではなく、地域住民を含めた取組として進めていくことが重要だということに興味をひかれました。</li> <li>◆生物多様性の保全が特に重要と思えますのは、ある特定の種がいなくなれば、自然のバランスにも大きく影響しますので。</li> <li>◆自立的復元力を失った森林を、長期にわたる森林施業により「復元」する考え方の導入は、国により行われることで森林の保護が維持でき、自然の財産として後生に恩恵を与えるものと考えます。</li> <li>◆小清水原生花園風景回復(火入れ)事業。在来植生を回復するための火入れは、危険を伴いますが、大変重要と考えます。私の住む山口県においても、毎年秋吉台で山焼きが行なわれ、草原を維持しています。今年は、死者が出る事故がありましたが、安全を十分に確保し、対策を取り継続する必要があると考えます。</li> </ul>

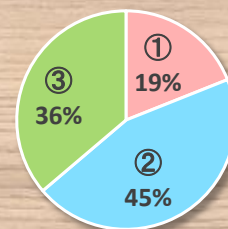
質問2 (2) 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献(P25~P36)の中で最も興味をひかれたものは何ですか。			
①	低コスト化を実現する施業モデルの展開と普及(P25~P28)	9	16%
②	林業事業者の育成(P29~P30)	9	16%
③	民有林と連携した施業の推進(P31~P32)	18	31%
④	森林・林業技術者等の育成(P33~P34)	15	25%
⑤	林業の低コスト化等に向けた技術開発(P35~P36)	7	12%
計		58	

**【各選択肢ごとの興味をひかれた理由やご意見等】**

①	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆低コストを実現させないと森林事業の継続が危ぶまれるから。</li> <li>◆国有林における伐採と造林について分かりやすく書かれている。</li> <li>◆少しは低コスト化について書かれているが、税金を使う以上もう少し詳しい情報を知りたい。費用が不足しているのであれば、それによる増額を要望すべき。</li> <li>◆P28カラマツ採取圃の整備による種子の安定供給の事例が特に興味をひかれた。多くの人に知ってもらいたい取組だと思う。</li> <li>◆低コスト・効率的な作業システムの実現に向けての取り組みが進められていることは、コンテナ苗の植栽面積や、伐採と造林の一貫作業の実行面積において、昨年度までの5年間で、徐々に増加がグラフから読み取れる。積極的な効率化を願うための姿勢を感じる。また、その姿勢の反映が年を経る毎に数値の増加として表れている。ただ、年度末毎の作業への問題点把握と解消等、総括を次年度に活かし、更なるいい展開を期待したい。コンテナ苗の植栽等の比較的簡易な作業は地域の方々やボランティアを募り、省力化を図れないものかと思う。</li> <li>◆「コンテナ苗」は用語解説にもあるが、どうもイメージがわからない。P25の下部は空いているのでコンテナ苗を拡大した写真を掲載すればどうだろうか。全般にわたり、カタカナの専門用語が多い。用語解説はあるのだが写真がよく分かる。百聞は一見にしかず。</li> <li>◆限られた予算の中で膨大な面積の森林の管理、低コスト化という名の許、大切な事業や過程がおろそかになってしまうのではないかと危機感を覚えます。森林を形成し、管理することは、最大の防災事業であるとの自覚が国には足りないのではないのでしょうか。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆林業を活性化させるためには、生産性向上が大切なことだと感じたから</li> <li>◆次世代への取組として、継続できるシステムを考えていってください。</li> <li>◆経営安定化のための伐採量公開等に興味をひかれました。</li> <li>◆当面は林業事業者を育成し、森林の整備、木材生産を行い、林業従事者の所得向上と安定化等を行うことで、森林・林業技術者等の育成にも繋がって行くと思います。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆グラフについて、H28は前年より変化が無い理由がほしい。</li> <li>◆本当に民間と協業できるのか？</li> <li>◆垣根を越えて官民共働しようことは、当然のことながら重要です。</li> <li>◆民有林と連携した施業を推進していること。</li> <li>◆国有林林野と民有林野が近接している地域において、間伐等の森林施策を連携して行う「森林共同施業団地」の設定を推進して、国、北海道、むかわ町が連携して木材の効率的かつ安定的な供給を目指していくことに興味をひかれました。</li> <li>◆国有林野と民有林野が連携していることは、とても素晴らしいことだと思います。</li> <li>◆31ページ図5の森林共同施業団地の現況では、H25年からH26年にかけて面積、国有林野、箇所数が大きく伸びているが、伸びた理由は何か。協定締結と何か関係があるのか？知りたいと思いました。</li> <li>◆中山間地は高齢化が集落を襲い、林野は荒れ放題。民間と連携した再生が必要だから。</li> <li>◆国有林は森林管理局の皆様のおかげで維持できていると感じます。市町村や日本生命やサントリーなど企業林も管理されているはず。問題は民有林にあると感じます。恥ずかしながら、私が誕生した70年前に父が記念に杉を大分県に植樹したという。今では大きく成長しているはずですが場所がいっこうに分かりません。今年の福岡県朝倉市の土砂災害のような事例が起きると責任はどうなるのか心配になってきました。一般住宅なら地図や番地表示がありますが山林にはありません。ゼンリンの地図や現地足を運びましたがなかなか難しい。。</li> <li>◆国有林と民有林は隣接している場合が多いと思っている。「地域」(面)での施業が必要だ。</li> <li>◆民有林は大企業も所有していますが、個人の小規模なエリアも多いと思います。その時の経済状況により変化しますので、一定の協力は必要なものと思います。</li> <li>◆低コストや効率を考えると山全体や流域で森林管理をする時代に入ってきていると思う。民有林・国県市町村林にとらわれず連携する方法を優先していけば他の問題も自ずと達成できるのではないかと思った。</li> <li>◆山を歩いていると、長年手入れされずに荒廃した林野を多く見かけます。林の持ち主も高齢化し、子供の世代は都会に出て、山野が放置された状況と推測します。この様な林を国と連携し、間伐等の施業が行われると素晴らしいと思います。</li> </ul>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆モニター会議に参加したときにも林業の従事者が少ないこと、今後の森林を管理する者がいなくなったり、気がついたら外国人の土地になっている可能性がある。</li> <li>◆色々な有効活用には、人材が必要です。</li> <li>◆労働力人口の減少が喫緊の課題である日本において、若手技術者の育成や林業に就職してもらうための魅力づくりが非常に重要だと感じました。</li> <li>◆やはり一朝一夕にはいかない。技術者の育成が大事だと思いました。③の民有林と連携した施業も、荒れる、すたれゆく民有林も国土としてとらえた場合、ほおっておけない大切な推進事業だと思います。</li> <li>◆フォレスター(森林総合監理士)の存在に興味深く新発見の感あり。ぜひ全国規模で、育成に向けて波及効果を期待したい。</li> </ul>
⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆こんなに沢山の大学が関わっているとは知らなかったの。</li> <li>◆地形が複雑で無い場合、この低コスト、高効率化は他の地域も近づきたい方法だと思います。</li> <li>◆新しい技術を有効に取り入れることにより、また大学や研究機関とのコラボすることにより、より大きな成果が得られる可能性が高まると思う。</li> <li>◆低コスト化されるのは大歓迎です。</li> </ul>



質問3 (3) 国民の森林としての管理経営(P37~P49)の中で最も興味をひかれたものは何ですか。			
①	双方向の情報受信(P37~P38)	11	19%
②	森林環境教育の推進(P39~P42)	26	45%
③	森林の整備・保全等への国民参加(P43~P48)	21	36%
計		58	



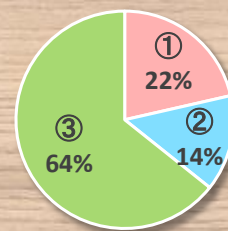
## 【各選択肢ごとの興味をひかれた理由やご意見等】

①	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆モニターの記事がもう少しほしい。</li> <li>◆モニターとしての我々の活動が行政の役に立っていると感じたから。</li> <li>◆国民に幅広く理解を深めるモニター。私自身モニターをしてみて知識が広がりました。</li> <li>◆国有林モニターを国有林野事業の認知のためだけでなく、もう少し専門的な知識を学べて、一定レベルを有すると何か資格を得ることが出来るような人材育成の場を作たらどうか。(フォレスターなどより簡単な資格)</li> <li>◆当たり前のように、水道の蛇口を上げれば出る水ですがこれがでなくなると日常生活の維持は困難になる。森林の水源の涵養性を国はもとより国民は真剣に考えなければならない。外国人の森林や土地の買いあさりを国民は真剣に考えるうえからもモニター制度など森林と水の大切さを考えるべきと思う。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆国民が森林や林業、国有林野事業への理解を深められるように様々なことを催していること。</li> <li>◆P46の取組状況は、もっと学校が取組しても良いのではないだろうか。さらに、箕面の小学校の先生の研修などに使われているように、教員から児童・生徒に伝えることが出来るようにしたい。</li> <li>◆自分自身も子どもたちも「森林環境教育」というものに出会う機会が無かった。更に推進が必要と思われる。</li> <li>◆全ては未来を担う子どもたちの教育次第というのは、歴史を省みても分かることで、①~③で一番重要であると感じた。更に大きく推進されることを期待します。</li> <li>◆森林環境教育の推進は、積極的に国有林野が利用されるよう、積極的な取り組みがなされているとのことであるが、より一層の取り組みを期待したい。「表-9」の平成28年度の森林環境教育の取り組み状況の表によれば、参加者が最も多いのが小学生で約5万人。1回当たり100人が訪れるという計算になる。その他を省くと続いて中学生、高校大学生の順であるが、小学生が群を抜いている。小学校で環境教育が取り入れられているからであろうが、小さな頃からの国有林についての有益な学習は大事であるし、森林の将来のためにも活かせる学習であること願う。学習を仕組む指導者は、学校へ足を運び、他の授業の流れ等も見学したり、教員を催しに招き、指導者として活躍してもらう方法も取り入れてはどうか。森林学習に学校での指導法の長所を取り入れることもできれば、森林学習の更なる向上が図られるかもしれない。</li> <li>◆教育こそ要す。中高大では授業として森林を科学的にとらえ、守る試みをしてはどうでしょう。体験から研究へと進んでほしいです。</li> <li>◆昨今の森林環境を考えると、子どもの時から様々な自然体験を経験させておくのは良いことだと思ったから。</li> <li>◆学校と森林管理者が協定を結び、国有林の豊かな森林環境を子どもたちに提供し、様々な自然体験をすすめる「遊々の森」を設定し、子どもたちに森林を通じて、豊かな森林環境教育の育成をはかる取組に興味をひかれました。</li> <li>◆国民の祝日の山の日は施行された理由を初めて知りました。学校で、森林教室や体験林業は子供たちにも山のことを知ってもらい、大切にしていって知識を学べる場として、とてもいい勉強だと思いました。</li> <li>◆「山の日」の設定により、活発に催しをしてほしい。</li> <li>◆児童、生徒はこれからの未来の森林を守り、育てていく力を持っているから。</li> <li>◆「親子を対象にした森林教室」「木工教室」これらがもっと身近に開催されていたら、私も子どもも参加してみたかったです。</li> <li>◆山の日(8/11)を大いに個人的にもアピールしてゆきたい。また、教育機関との連携と併せて、地域においても木工教室などを随時開催したい。</li> <li>◆林業の人材育成につながると思うので。</li> <li>◆「山の日」も出来ましたし、PR活動は特に重要と思います。「みどりの女神」もいいイベントと思います。</li> <li>◆森林イベント・情報等は限られた人々しか関心がないように思う。世界の森林の減少の知識はあっても日本の身近な森林の実情がわからないことが多い。義務教育の中でもっとアピールできるよう教材開発・人材提供など力を入れるとよいのではないかと思います。</li> <li>◆これからの森を守り育てていくのは、子供達の世代だと考えています。その意味からも、子供のうちに森林環境教育を行っておく事は重要と考えます。私も微力ながらこの様な取り組みに協力したいと思えます。</li> <li>◆山に囲まれた環境にいると(日本はどこでもそうですが)山の恩恵に気がつきにくくなります。小学校の課外活動に職員やフォレスターを派遣し、山を散策しながら、山の役割を説明する等の機会が必要かと感じます。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆いろんな団体がそれぞれの見方を通して誰でも参加できることが、国民の森林共有につながるから。</li> <li>◆国民参加しようとしても、いつ、どこで、どんな行事が実施されているのか全く分からないのが、当市に限らず実態ではなからうか。各市町村の広報誌などをお願いして、行事等のPRに努めてほしいと思う。</li> <li>◆新聞やテレビ等の報道で、森づくりや森林保全活動が取り上げられることが多くなってきたような気がします。</li> <li>◆このように積極的な活動が行われていることを知らなかった。</li> <li>◆情報量の少なさ&amp;国民の参加が無いと思います。もっとここに費用をかけるべきでは？</li> <li>◆国民が森林についてもっと知るべき、情報発信も必要です。</li> <li>◆P48私自身、関わりのある企業でも同様の森を守る試みをしている。</li> <li>◆国民参加、国民の私たちの森林という意識を持つように、多種多様な取組が必要。</li> <li>◆多くの人に現状を知ってもらい、参加出来る人を増やす活動が大切ですね。</li> <li>◆身近な存在として、わかりやすい説明や、参加しやすいような土壌が作りが大切であり、ひいては、それが、「森林環境税は必要だ」という理解につながるのではないかと思います。</li> <li>◆森林とのかかわり合いが、直接身近に体験として実感できる。</li> <li>◆木の文化を支える森が、全国25か所で設定されていることを初めて知った。法隆寺周辺も指定されており驚いた。世界最古の木造建築ということなのか。ただ、中国地区には一か所もないのが残念だ。宮島の鳥居とかあるのでは。検討してもらいたい。</li> <li>◆中国5県と兵庫県には1ヶ所もない。九州も大分のみ。長野県に集中していませんか。</li> <li>◆44ページの図6全国の「木の文化を支える森」に中国地区5県が1ヶ所も無いことに非常に残念に感じた。ぜひ中国5県の中から1か所でも指定されるように取組が必要と感じた。</li> <li>◆幼児から高齢者まで多くの人に森林に足を運んでもらう取組は、森へ親しみ、感心を多くの人に持ってもらうため重要なことと考えます。</li> <li>◆森へ行く交通手段の確保が重要な問題。</li> </ul>

2 国有林野の維持及び保存 (P50~P69)

(単位:人、%)

質問4 (1) 森林の巡視、病虫害の防除等適切な森林の保全管理 (P51~P58) の中で最も興味をひかれたものは何ですか。			
①	森林の巡視及び境界の保全 (P51~P52)	12	22%
②	森林病虫害の防除 (P53~P54)	8	14%
③	鳥獣被害の防除 (P55~P58)	36	64%
計		56	2名無回答



【各選択肢ごとの興味をひかれた理由やご意見等】

①	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆様々な方たちが森林の清掃活動に取り組んでいるのだなあと思いました。グリーン・サポートスタッフによって登山の危険箇所を知らせてくれて大変ありがたいです。</li> <li>◆積極的な自然保護もしていることに興味を持ちました。</li> <li>◆広い森林を職員のみで管理するのはとうてい無理でしょう。民間企業の研修、シルバーエイジの方、各自自治体にある歴史散策クラブ、大学や高校のワンダーフォーゲル部等に活動補助の依頼をする等が山の役割の周知と共に有効かと思えます。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆今年、高松の栗林公園に行きましたが、きちんと管理されていました観光を産業にしていく上で、森林の管理はかせないと思います。人間が意図的に管理することはこれからも必要だと思います。表11からも、かなり広い範囲で防除していく必要があることが分かりました。</li> <li>◆森林を守ることが一番なのですが、森林の防除に使う農薬が心配です。健康被害のない薬なら安心ですが。</li> <li>◆松くい虫被害は昭和54年度をピークに減少傾向にあるという。そういえば、最近マスコミで報道される機会が少ない。20年ほど前、わが家の裏山でも年に一回空中散布が行われていた。中止になって年月がたつが、実際効果があったのだろうか。</li> <li>◆以前に指摘させていただきましたがマツノセイザンチュウやカミキリムシの駆除として、交尾しても卵を産めないメスをつくるように遺伝子操作した虫を野に放つ事が一番だと感じる。既に諸外国では蚊対策に実施している国もあるのですから。</li> <li>◆山口県においても、飯ヶ岳の滑松が、松食い虫の被害で、現在38本になっている。と聞いています。この様な素晴らしい木は私達の財産なので、何とか守って行く必要があると考えます。また、保全管理だけでなく、有効な利用も推進する必要があると思います。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆近年シカやイノシシ、サルの被害が増しているの、効果ある対策を全国で共有化することが必要だと思うから。</li> <li>◆捕獲したシカ、イノシシをジビエ料理として流通させる取組、量が少ないのか安定していないのか、ちょっと高いのが難。(近畿中国森林管理局でカレーを食べました。)</li> <li>◆シカによる被害から高山植物を保全する事例、絶滅してからでは再生できないので、一日も早く他の地域でも対策してもらいたい。</li> <li>◆イノシシの被害は全国的に聞きます。</li> <li>◆鳥獣被害が山のみのものでなくなっているように思います。山で食い止め、里への被害が少なくなるような対策を講じてほしいと思います。</li> <li>◆今、自分が住んでいる地域でも大きな課題となっているので関心が高い。</li> <li>◆ジビエに興味をひかれたから。</li> <li>◆京都でも市街地にシカやイノシシが出没したり、食害も少なくない。ジビエ利用を積極的にすすめたら良いと思う。</li> <li>◆京都はイノシシ被害が多く、他人事ではない。</li> <li>◆適正数を超えた鳥獣は、積極的に捕獲し、命を大切にす意味からも食用として利用すべき。</li> <li>◆動物も大切ですが、共に生きる道をさがしながら森を守っていきたいです。</li> <li>◆今年、モニターとして実施見学をしたシカ被害を目の当たりにしたということもあるが、そろそろ、国をあげての抜本的な解決策を講じ、実行すべき時ではないだろうか。</li> <li>◆民有林・国有林が連携したシカ捕獲の取組。高山植物を保全する取組。</li> <li>◆鳥獣被害の防除に関して、ただ単に、国主導で鹿等を捕獲するだけでなく、各協議会や地元を巻き込んだ対策が必要だと実感し、また、理解を得るために大変苦労されているだろうなとお察しました。</li> <li>◆「図7 国有林野におけるシカ捕獲頭数」のグラフによれば平成21年度に836頭が捕獲されたが、平成27年度では11830頭と格段の増加を見た。シカの食害によるものである。本来ならばシカとも共生が可能なのだろうが、森林被害のこれほどの深刻化は捕獲もいたしかたない。また、高山にも進出するに至っては捕獲もしなくてはならない。可愛い風貌のシカであるが…。関係機関や学識経験者の知恵を寄せ集めて、有効的な捕獲と、他の有効な手段でもって捕獲頭数も減少する方法を考えてほしい。</li> <li>◆シカの問題は、いろいろな面からも問題提起があるので、やはり興味深い記事です。</li> <li>◆広島モニター会議に行ったときに、シカ捕獲の現状と実態を見せてもらい、わなにかけたりして捕獲することの重要さが良く分かったから。</li> <li>◆各地域において、囲いわな、足用のくりわな、首用のくりわな、電気柵設置、センサーカメラの設置により、シカの捕獲をしていることに興味をひかれました。</li> <li>◆増え続ける鳥獣により、作物、森林の被害を受けているので、良策を考えてほしい。</li> <li>◆最近、テレビや新聞などの報道でよく耳にするテーマであり、身近な問題となってきた。</li> <li>◆鳥獣被害が拡大し、大切な森林が育ちにくくなっているの、早期に対策を講じてほしい。</li> <li>◆ごまめに、近所でイノシシが出たという情報を聞きます。イノシシも生きていくために必死なんでしょうが、やはり怖いです。</li> <li>◆高山植物を愛する者として、保護の取組み等の活動に際しての意識・動向を共有してゆきたい。</li> <li>◆シカは人里近くにも出没し、農作物に被害を与えている。山林も同様。ワナで捕獲は適正頭数になるはず。ジビエで食文化に多様性を。</li> <li>◆特に問題になっているのは、シカだと思います。広島でのモニター会議の時、フェンスとワナを見ました。必要な事とも、かわいそうとも感じました。</li> <li>◆最近、街中でも鳥獣被害が増えているように思う。早急に対策を考えないと益々被害が広がるのではないかと心配している。</li> <li>◆鳥獣被害で決定打はないものでしょうか。</li> <li>◆森林の保護、保全と鳥獣との共生が出来ないものか。</li> <li>◆神戸はイノシシの被害が多い。それもビニール袋を持っていると後ろから襲うそうです。イノシシは、人が山に捨てた弁当やお菓子などで味を覚えて、ビニール袋にあるのを覚えたためです。マナーが良くなってほしいです。</li> </ul>

質問5 (2) 「保護林」など優れた自然環境を有する森林の維持・保存(P59～P69)の中で最も興味をひかれたものは何ですか。			
①	「保護林」の設定及び保護・管理の推進(P59～P62)	13	23%
②	「緑の回廊」の整備の推進(P63～P64)	11	19%
③	希少な野生生物の保護の推進(P65～P66)	18	32%
④	地域やNPO等との連携による保護活動の推進(P67～P68)	7	12%
⑤	環境行政との連携(P67～P68)	8	14%
計		57	1名無回答

回答番号	割合
①	23%
②	19%
③	32%
④	12%
⑤	14%

**【各選択肢ごとの興味をひかれた理由やご意見等】**

①

- ◆前問のP51とともに、保護にかかる費用をもっとアピールと共に、情報提供のありかたを考えていただきたい。
- ◆生物の多様性を大切にするためにも、徹底的に保護する場所が必要だと思います。
- ◆保護林制度の創設以来、その時代に合わせた制度の見直しが行われていること、平成27年には創設から100年を迎えること等、知らないことばかりだった。平成27年度の改正では自立的復元力を失った森林を「復元」という考えの導入は凄いことだと思った。保護林の将来を予想しながらの保護・管理が十分にされ、豊かな森林が子孫に受け継がれることを期待する。
- ◆保護林と緑の回廊の位置図が改めて興味深く、わかりやすいと思います。
- ◆61ページ図9の「保護林」と「緑の回廊」位置図では、関西地区、中国地区、九州北部地区に無いことに疑問を感じました。前地区に無い原因について知りたいと思いました。保護林が既設の131から95に減少(見直し)した。36も減少した理由は保護地域や保護林としてふさわしくないと判断されたのだろうか？理由を知りたいと思いました。
- ◆平成27年4月に保護林制度の改定をされている。5年毎にPDCAで見直しをされることを希望します。

②

- ◆本来なら、緑の回廊をいろいろな人に知ってもらうため、ウォーキングなどをしてみたいと最初考えましたが、野生動物の保護などを考えると、多くの人に来ることは難しいと感じました。同時に海外ではどの様に行っているのか知りたいと思います。
- ◆「緑の回廊」の取組は良いと思う。ただ、広く知られておらず残念だ！
- ◆緑の回廊による個体群の交流の促進は、兄弟や親などしかいない状態になることのおさえでいいのでは。野生動物の親近交配によるいろいろな障害が防げるといいので。
- ◆絶滅危惧種を守るためにも、積極的にネットワークを形成してほしいと感じました。
- ◆ネーミングもいいですね。
- ◆「緑の回廊」の言葉に興味を惹かれました。「緑の回廊」が今後さらに整備され、われわれと具体的にはどのような関わり合いができるのか期待しています。
- ◆「緑の回廊」のひびきに好感。ぜひ民有林関係者との連携を。併せて一般人への呼びかけ共有する機会を増幅してもらいたい。
- ◆このような取組は、森林生態系を向上させるため必要なことと思います。
- ◆自然の持つ素晴らしい力、野生生物の生育への取り組みは、大変重要と思います。今後も範囲を広げ推進して頂きたいと思います。

③

- ◆希少な生物が地球規模で消え、取り返しのつかない事態になっている。日本も絶滅危惧種の指定されている野生動物がいるので、確実に保護してほしい。
- ◆希少な野生生物の保護は必要です。
- ◆希少生物の保護も行政の重要な役割のうちの一つであると感じたから。
- ◆希少動物保護より、シカ、イノシシ対策を！
- ◆希少な野生生物の保護に取り組んでいること。
- ◆絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存は、シマフクロウ、イリオモテヤマネコなどの生育や維持、改善等をするためには、とても大切な事だと思うから。最近、シカの食害等もあるので、希少種を保護する事はとても必要なことだと思う。
- ◆国有林野事業で、「種の保存法」に基づいて、北海道のシマフクロウと沖縄県のイリオモテヤマネコの保護に向けて、生育・生息状況の把握や維持・改善を実施していることに興味をひかれました。
- ◆希少野生生物も森林管理局で行っているんですね。でも、保護して絶滅しないようがんばってほしいです。
- ◆希少な野生生物は、森林にとって大切なので、ぜひ保護して欲しいから。
- ◆先般、対馬でカワウソの映像が撮影されたニュースがありました。対馬には野生の山猫や沖縄県の西表島にはイリオモテヤマネコなど希少動物が生息している。人間の手によって絶滅させてはいけなさと感じる。森林管理局の皆さんは樹木だけでなく動植物までの生息環境の改善まで多岐に亘る業務がありご苦労が偲ばれます。
- ◆希少種がレッドリストにのるのははげたいと思いますので。
- ◆イヌワシは希少猛禽類との表示があるが、「猛禽類」とはどのような意味なのか説明文を付け加えてほしい。私は初めて(耳)目にした言葉であり、気になりました。また、イヌワシ以外にもどのような生物が猛禽類に含まれているかについても知りたいと思いました。

④

- ◆沢山の協力が必要なことだと思うので納得しました。
- ◆NPOは国民誰でも参加できます。保護の活動も専門家だけでなく、国民みんなで進めると大きな力になると思います。
- ◆子供が小学生なので、教育的なことも考えて、森や林などに連れて行きたいと考えている。
- ◆様々な意見交換、普及活動がより良い保護活動につながると思うので。

⑤

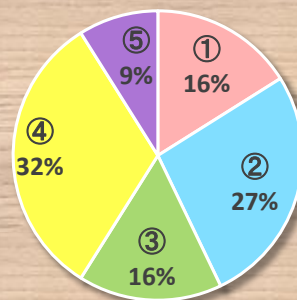
- ◆環境行政との連携を積極的に行い、意見の違いが無いようにしてほしい。
- ◆環境のみならず、土木業生徒の連携も。国、都道府県、市町村と壁をつくり、独自路線を行こうとする。なんとか頭を柔らかくして、行動できませんかね。
- ◆各章の最終ページの写真が美しく、見応えがある。目の保養となる。夜叉ヶ池は名前からして、幻想的。何県にあるのだろうか。
- ◆国民の理解や協力を促すためにも環境行政との連携を強化してほしい。外来生物対策以外にも、シカ・クマ・サル・イノシシなどの野生動物・ペットも含め人と動物との付き合い方も広く国民に周知してほしい。
- ◆この場合、質問4でも書きましたが、森林管理局と民間の間を取り持つ役目を行政は担うべきだと思います。学校、企業、自治体への呼びかけは行政の仕事です。



3 国有林野の林産物の供給(P70~P79)

(単位:人、%)

質問6	この項目の事例の中で最も興味をひかれたものは何ですか。	
①	高齢級人工林秋田スギの利用拡大に向けた取組(P74)	9 16%
②	国有林野を活用した伝統文化の継承への貢献(P75)	15 27%
③	「二風谷アットゥシ」の原材料の安定供給への取組(P76)	9 16%
④	民有林と連携したシステム販売の実施(P78)	18 32%
⑤	松くい虫被害対策と連携した立木のシステム販売の取組(P79)	5 9%
計		56 <small>2名無回答</small>



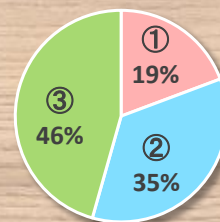
【各選択肢ごとの興味をひかれた理由やご意見等】

①	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆付加価値を付けたブランド化。</li> <li>◆良い取り組みで、他県において行われることを期待したい。</li> <li>◆利用はどのようなものに? 具体的に知りたいです。</li> <li>◆最近話題の高級観光列車にも良い木材が使われており、それだけで気分が良くなる。</li> <li>◆秋田スギはブランドなのですね。こちらでは聞いたことがありませんが、“秋田を元気にする”ということはいいいフレーズで、これからもブランドとして大切に守って行って欲しいです。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆京都の文化財修復現場を見学したとき、檜皮を手に入れることが難しくなっているという話を聞きました。日本の大切な文化財を継承していく為に、ぜひ継承して行ってほしいです。</li> <li>◆この頃、近所のかやぶき屋根の材料が無いなど伝統文化の継承をしたくても材料が無いので困るということを良く聞きます。もし国有林に材料があるならそれを出してほしいです。</li> <li>◆社寺等木造建築物の屋根材に利用されている檜皮は、専門の技術者、原皮師によって採取されることを知らなかった。「木こり」の方が樹木を伐採して、その際に檜皮を採取するものだと思っていました。自分の知らない所で特殊な技術者が活躍していることもわかった。その原皮師の減少が採取の減少につながるため、原皮師の養成も行われている…。知らなかったことばかりだが、原皮師の存在にも感謝したい。ところで、国有林野146haから12トンの檜皮が採取されたとのことだが、その量がどれだけの社寺の屋根を覆えるのか。数値の値打ちも知りたいと思った。</li> <li>◆伝統文化継承には時と費用がかかるので、林野庁が率先して取り上げてくださるのはありがたいと思います。</li> <li>◆寺社に興味があり、屋根材の檜皮にも興味津々です。</li> <li>◆数年前の広島県の宮島や奈良県の室生寺の台風被害で檜皮を探していた事を思い出した。檜皮葺きをしている神社仏閣は自前のヒノキ林を所有しているはずですが足りないのか自分のヒノキは伐採したくないのかは知りません。森林管理局の皆さんの業務は杉やヒノキ、椎など針葉樹林から照葉樹林の管理と目を向ける業務で大変だと感じます。</li> <li>◆②だけではありません。川下の需要喚起が林業の発展に繋がります。</li> <li>◆日本には多くの神社仏閣があります。その工法は様々ですが、国産の木材を使用されることはまちがいないでしょう。神社や寺院の修繕や建て替え等に地元の木材を使用することで何らかのアドバンテージが発生するようなシステムがあればいいのですが。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆伝統工芸に興味がある。国有林、公有林と伝統工芸品が関連していると考えたことがなかったのでおもしろかった。</li> <li>◆本当に陰に隠れた活動があるんですね。</li> <li>◆「二風谷アットゥシ」の原材料となるオヒョウの樹皮は、西日本でも見る事が出来ますか?</li> <li>◆二風谷アットゥシ織というアイヌ文化の伝統工芸品を初めて知った。オヒョウという樹皮の皮から作った糸で機織りして製作しているのですか。二風谷アットゥシもオヒョウの樹皮も見たことがない。一度見てみたいものだ。アットゥシはアイヌ語でどんな意味があるのだろうか。</li> <li>◆オヒョウの樹皮が「二風谷アットゥシ」の原材料である事を知りました。</li> <li>◆二風谷アットゥシと言うのをこの記事で初めて知りました。これからは森林資源を利用した伝統工芸等の紹介をお願いします。</li> <li>◆単年度に30本の販売で減少に歯止めとなるのですか。次年度以降はどうなるのか。買う人はどういう人で、どこに植えて育てるのでしょうか。場当たりの感じですか。</li> </ul>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆民有林と国有林の連携は難しいと思いますが、必要です。</li> <li>◆木材の販売ではどうしてもコストがかかると聞きました。国有林と民有林が連動して集約すれば、もっと効率的に出来ると思います。また、所有者不明の民有林を法的に国有化できるようにして欲しい。(税金も納めているか不明なので)</li> <li>◆官民連携で林業を活性化して欲しい。</li> <li>◆民有林と連携した木材を販売していること。</li> <li>◆国だけでは限界がある事は一国民としても感じるところで、民間とも大いに連携して推進していくのが良いと思う。</li> <li>◆若者が就職したいと思えるよう、利益を出す仕組み作りが必要で、コンサル等の活用に対する補助金等も一つの手段だと思います。</li> <li>◆国有林だけでは少ないから、民有林と連携するというのは、いい考えだと思ったからです。</li> <li>◆国有林と民有林が協調して木材を出荷する。安定供給体制の構築に期待感がひろがりました。</li> <li>◆原木安定供給体制、民有林における施業集約化、未利用間伐材の有効利用等の促進に資するための協調出荷に興味を持ちました。</li> <li>◆有効利用、合理化、コストダウンのメリットがあると思います。</li> <li>◆民有林の手入れが進まないこともあり放置林も増えているので、より多くの地域で実現してほしい。</li> </ul>
⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆効果的な取り組みだから。</li> <li>◆京都は被害大。特に北山地域がひどいです。</li> <li>◆立木のシステム販売協定により、協定者が長期にわたり安定的に事業を実施できることから、その安全性と労働生産性の向上が期待されることに興味をひかれました。</li> <li>◆松くい虫によって長年育ててきた松が枯れて、松茸などのキノコ類が絶滅に近づいているので。</li> </ul>

4 国有林野の活用(P80~P85)

(単位:人、%)

質問7	この項目の事例の中で最も興味をひかれたものは何ですか。		
①	地域振興を目的とした国有林野の売払い(P82)	11	19%
②	国有林野における観光推進の取組(P84)	20	35%
③	レクリエーションの森における地域と連携した環境美化活動(P85)	26	46%
計		57	1名無回答



【各選択肢ごとの興味をひかれた理由やご意見等】

①	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆国有林の売り払いの理由などがもっと知りたい。</li> <li>◆「地域振興を目的とした国有林野の売払い」について興味を持った。観光事業もいいが、地域に国有林野を売り払い、地域の方々に地域が賑わう方策を考えてもらえばどうかと思う。売り払った後、地域の方々が観光事業やレクリエーションの場としての選択するかもしれないが、それ以上のいいアイデアが浮かぶかもしれない。従って、地域に任せ、国有林野を有効活用してもらおうというのではないか。</li> <li>◆国有林野の売り払いは、いかなる目的でもしてほしくありません。国民一人一人の財産なのでから。</li> <li>◆国有林だと森は維持できるが個人などに売却すると伐採されるかもしれない。国有林野の売却は個人的には反対という印象を受けた。しかし、債務問題などあるとそうも言えないのかねしれませんね。</li> <li>◆国有林で高収益が望めないため、とりあえず、地域に貢献するのが近道です。</li> <li>◆公的機関が森林を整備して、市民の健康維持・増進、レクリエーションの場として利用されるのは意義あることと思います。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ねらいは素晴らしいと思います。さらにインバウンドを考えるなら、ホスピスのようなものを作ってはどうですか。QOLを考え、余生を落ち着いた場所で過ごしたい方も日本人も外国人もいると思います。そのための施設を省庁連携事業としてみてはどうでしょう。もちろん一部の方になるとは思いますが、自然を活かすことが出来ると思います。</li> <li>◆国有林を観光資源に活用することにより、経済効果が発生することは評価できる。</li> <li>◆インバウンドを推進するための取組になってはいけないことを忘れないでいたい。</li> <li>◆山小屋をもっと安くしてほしい。均一料金はおかしいです。</li> <li>◆森林のフィールド地として、レクリエーションの森が推進されています。なぜかスポーツやトレッキング的な感じのものばかり。逆に違った施設運営はどうでしょう！文化的なものも良いのでは。</li> <li>◆子供向けのイベントがないか注目している。</li> <li>◆多くの人に見られる林野も必要だと思います。</li> <li>◆美しい自然・景観の観光へ活用すること。</li> <li>◆国内外に対して、観光資源として国有林野は有効なものになり得るのではないだろうか。</li> <li>◆紅葉シーズンなどは、入山税のようなものをもっともいように思いました。</li> <li>◆海外の観光客へのPRへの強化策として賛成です。今後に夢ふくらみました。</li> <li>◆自然の観光活用。</li> <li>◆美しい自然、景観は、一番の観光資源だと思います。特に、日本の森林の美しさを見てもらいたいですね。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆実際の経験を通して森林への理解と環境美化の両立がよい効果を生んでいるから。</li> <li>◆国民の林野事業への理解に役立つと思う。</li> <li>◆自分たちの森という意識を持つての活動が素晴らしい。</li> <li>◆私たちの近くの河川、水資源での美化活動の利点、改善点と同じように、森林の問題も共通しているように改めて思いました。</li> <li>◆クロマツを主体とする玄海風致探勝林では、環境美化活動を行うアダプト・プログラムが導入され、地域と一体となった海岸林整備に取り組みしており、その登録人数が約1000人になっているということに興味をひかれました。</li> <li>◆松林の環境美化活動に1,000人以上の登録者がいるのには驚きました。写真を見てもマツ材がきれいで、丁寧に手入れされています。さつき松再生プロジェクトは、子供も参加されていて、これからも若い人達が守ってほしいです。</li> <li>◆より多くの人達が楽しみ、親しむことができる森の素晴らしさに改めて思いを馳せました。</li> <li>◆レクリエーションの森は、森林浴などによる観光客誘致や健康保持に必要なから。</li> <li>◆身近でこういうイベントがあるのかどうかさえ知らないです。</li> <li>◆写真で見ると、玄界灘に面するさつき松原は散歩にもってこいの景観のようだ。遊歩道も整備されているようなので、潮風にあたり心も晴れ晴れした気分になるかな。文中の「アダプト・プログラム」の意味が分からない。他の言葉に置き換えるか、注を付けた方が良い。</li> <li>◆広く国民が参加しやすく活動ができる森林になるようなハードソフト両面から仕組みづくりをしてほしい。国民が森林の魅力に気づくと率先して行動し守っていくのではないかなと思う。</li> <li>◆私は山口市の森林セラピーの森の案内人として、森林を利用しています。今後は、森の利用だけでなく、セラピー参加者と共に森林の環境美化にも取り組みたいと考えています。その意味からもこの記事は参考になりました。</li> <li>◆アダプト・プログラムについての周知が全くないことが残念です。</li> </ul>



## 5 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全 (P86～P89)

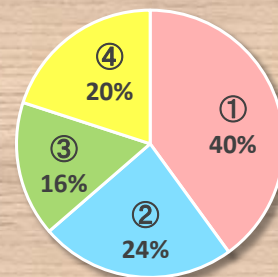
質問8 ご意見等がございましたらご記入ください。

- ◆公財でフォレストサポータとして山の手入れをしています。直接関わりが有るのか無いのか。
- ◆民有林野の保全は難しく、国有林野と一体とした保全は必要と思います。
- ◆P88のイメージはわかりやすく、とても良いと思います。所有者がはっきりしている民有林に関しては、十分に期待できると思いますが、不明の場合がどのようにされているのかが知りたいです。出来る限り所有者不明の森林は、法的に処理して国有化した方が災害を防ぐにも良いのではないのでしょうか。(固定資産税の未納でと、数年間国が管理すれば所有権が移る法律があったような・・・)
- ◆P88の図-11の文字をもう少し大きくして欲しい。
- ◆国有林と民有林を統一的に売り払い、買い取りをして、理由を持った利用は出来ないのでしょうか。
- ◆国有、民有を線引きして、結果として全体を守ることが出来なければ意味が無いので反賛です。
- ◆民有林と一体となって取り組むことは良いことだと思います。
- ◆保全にも人の手がかかっているということは、あまり周知されていないと感じた。
- ◆国有と民有・・・難しいですね。(大切ですが)
- ◆少子高齢化や都市化で、管理の担い手が不足する山林が多いと知りました。そのため、場所により土地の寄付を断っているとも聞きました。
- ◆国有林野に隣接していても、国有林野の中にある民有林であっても、手入れが不十分の場合は国有林野に悪影響が及ぶ。民有林所有者が高齢化で手入れがしにくくなっているのかもしれないし、そのようなことが今後増加するのではないかと。だから、民有林の世話をするかわりに費用を負担してもら。あるいは少範囲であれば寄付をしてもら。他の場所に移動してもら。そのようなことしか思い浮かびません。
- ◆売り払った国有林の分だけ、いっそ民有林を買い取って国全体として森林を守れたらと思います。
- ◆国有林野に隣接・介入する民有林野において、「公益的機能維持推進協定」が創設されたと言うことですが、その実施費用は全額国が持つのか、半分半分なのか、そのあたりのことが知りたいです。
- ◆国有林だけでなく、民有林も一体となって間伐しているのはとてもいいことです。民有林の人達だけでは出来ない事もあると思いますので、協力することは必要だと思います。
- ◆大山滝が災害で姿が変わりました。整備ヨロシク。登山道上がることが怖いです。
- ◆高齢化により、民有林の整備が十分に行われず状況は今後ますます予想されます。日本の宝である森林を守るためにも、民と官が一体となった活動は今後ますます重要になると感じます。
- ◆良好な森林を供給するためには、整備は必要だから。
- ◆良好な状態に維持管理することが出来ない民有林が増えていく中で、国有林に隣接する林野より整備していくことは大切な事と思う。次のステップとして範囲を広げて行くことを出来れば良いと思う。
- ◆公益的機能維持推進協定制度が民有林に対して、今後少しでも良くなってほしいものです。
- ◆国有林保全のため、外来種の駆除作業をしていることを初めて知った。魚や草の外来種の脅威はよく報道されているが、木にも外来種の脅威があるとは。具体的に、どんな種類の木なのだろうか。
- ◆公益的機能維持推進協定制度のイメージ図、簡略化され大変理解しやすい。ぜひ、個人的に視野を深め、説明者としても勉強し、微力ながら一人でも関心する人を増やしていきたい。
- ◆国有林野事業により一体的に整備および保全を行うことは今後も必要だと思います。
- ◆質問2で述べましたが民有林の杜撰な所有者も全国にはいると感じます。農地は数年前に耕作放棄地の着手をはじめたようですが民有林の調査も必要だと感じる。私も耕作放棄地について行政から呼び出しを受けました。大分県の農地、山林について東京生活が長かったので全く分からない次第です。
- ◆高知県の町の例はよい例です。
- ◆P87の内容どおりと思います。
- ◆とても良いことだと思う。積極的に取り組んでほしい。
- ◆このような民有林は、買い取りし、国有林にしたらよいと思います。
- ◆民有林の持ち主の理解を十分に得ながら進めて頂きたい。
- ◆実際に「公益的～協定制度」が適用される民有林は、全国でどの位あるのでしょうか。そもそも、民有林の管理はその所有者がすべきことで、それをしないで放置しておいて、税金で手を入れてもらうというのはどうなのでしょう。かかった費用については民有林所有者も負担されるのでしょうか。

6 国有林野の事業運営 (P90~P97)

(単位:人、%)

質問9	この項目の中で最も興味をひかれたものは何ですか。		
①	民間委託の推進 (P91~P92)	22	40%
②	情報システムの活用 (P93~P94)	13	24%
③	計画的かつ効率的な事業の実行 (P95~P96)	9	16%
④	安全・健康管理対策の推進 (P95~P96)	11	20%
計		55	3名 無回答



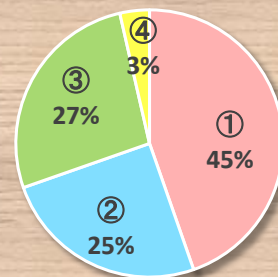
【各選択肢ごとの興味をひかれた理由やご意見等】

①	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆民間委託により林業の事業としての継続を希望します。</li> <li>◆民間の力を活用し、整備だけでなく、稼げる林業に育てあげてほしいと思います。</li> <li>◆委託は疑問です。委託するなら森林管理局は不要なのではありませんか。コスト面を考えての事でしょうが、コストより事業の継承、研究には自分たちでやるのが大事なのでは。</li> <li>◆基本的に民間事業者に委託できる事業は委託し、伐採(素材生産)や植栽及び保育について、その全てを民間委託により実施したことに興味をひかれました。</li> <li>◆民間事業に委託することは、民間の収益になるのでいいことだと思います。ただ、重大な災害が1件発生したことはとても残念ですので、安全指導や現場にだけまかせないで、たびたび見に行くなどして安全第一で作業をして欲しいです。</li> <li>◆前問にも関係するが、民間の力、官の力の良い点、優れた点を生かすためにも民間委託の推進は今後ますます重要と考える。</li> <li>◆民間の力を借りていくことも大切になってきたから。</li> <li>◆効率的で、即結果を求める時代ならば、民間委託の推進に共感。</li> <li>◆民間事業者の現場での作業内容も安全面等で重要だと思いました。</li> <li>◆安全の確保が最も重要と考えます。</li> <li>◆途方もない額の債務が残っている中、未だに多くの住宅建築が外材を使用し成されていることに疑問を感じます。国産の建材の良さを周知、工務店への研修等必要かと思います。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆情報システムやネットワークの活用の時、セキュリティについても考慮していると思いますが、もう一度考えてほしい。</li> <li>◆情報システムを活用して、効率的に管理することに賛成する。</li> <li>◆時代に合ったシステムを活用されていることが分かった。システム導入に係る費用が気になった。</li> <li>◆広い国有林・・・情報システムがいるんですね。</li> <li>◆情報システムの活用は、今後積極的に実施してほしい。考古学の分野でも測量技術の進歩には目を見張るものが多い。100m程の大きさの古墳測量は昔は人力作戦だったので1カ月も要したのに、現在では数日。遺跡の平面図や石室の立面図も機器のおかげで簡単に図に表すことができる。だから、国有林の地形測量も案外簡単にでき、樹木や地質のことについて、かなり詳しい資料を得ることができるのだと思う。情報システムの活用は、今後も欠かせないものであると思うし、得た資料をもとに国有林野が豊かに育つために活かしてほしい。</li> <li>◆情報システムを利用することによって、森林全体の整備を考えながら、民有林も併せて管理できる事業体が必要と思う。</li> <li>◆全国どこでもまんべんなく実施してほしい。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆いろんな手をつくしているようだが、現実には赤字だ。海外の成功例を模倣して効果的な取り組みができないものか？</li> <li>◆これだけの債務があったのは驚きました。しかし、少しずつではあるが返済していく方向は素晴らしいと思います。こういうのに入山料とかで埋めていく方法などがあればなお良いと思います。</li> <li>◆今後とも計画的に事業の実行を進め、安全に推進してください。国有林野事業が特別会計に属していた債務の返済する金額の多さに驚きました。</li> <li>◆自然相手のお仕事なので、常に危険と隣り合わせだと思いますが、これからも頑張ってください。</li> <li>◆何事も計画的かつ効率的な事業は必要です。116億円の債務返済という事ですが、債務はいつどのように発生したのか気になりました。</li> <li>◆立木販売、素材販売以外の柱をつくる必要があります。例として、きのこ、わさび、端材による木工品(スマホケース)、木製シャープペン、ボールペン、道の駅の活用、山の駅新設など。</li> <li>◆産業としては当然だと思います。ただ、他の産業と違い、スパンの長さが問題だと思います。</li> </ul>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆大切な事だと思う。</li> <li>◆職員を増やすためには、安全確保が一番大切です。</li> <li>◆職員の死亡に至る災害が発生していないこと。</li> <li>◆職員の災害の原因は何か？安全面・体調面での油断や過信は無いのか？職員の災害発生時の絶無を期すとともに原因の追及、防止対策に万全を期すべきだと考える。</li> <li>◆職員の災害の発生状況を見ると、結構事故が発生している。素人目にみても、樹木の伐採などは危険な作業である。災害をなくす心構えで従事してもらいたい。</li> </ul>

7 その他国有林野の管理経営 (P98~P109)

(単位:人、%)

質問10	この項目の中で最も興味をひかれたものは何ですか。		
①	人材の育成 (P99~P100)	25	45%
②	地域振興への寄与 (P101~P104)	14	25%
③	東日本大震災からの復旧・復興への貢献 (P105~P108)	15	27%
④	関係機関等との連携の推進 (P109)	2	3%
計		56	2名無回答



【各選択肢ごとの興味をひかれた理由やご意見等】

①	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆人口減少や高齢化で森や山を守ることがとても大変になっています。森や山の仕事には技術が必要です。人を育て、定着できるように力を入れてほしいと思います。</li> <li>◆(3)も書きたかったですが、一番はこれから林野分野に関わる人材の不足をどう補うのかを考えたい。教員として、この分野に進んでくれる生徒をつくっていくことで、日本という国のほんの一部でも支える事の出来る人材をつくりたい。現在、農業高校で勤務しているので、高校と大学、省庁などの連携で人材育成してみたい。鳥取大学では、林業関係の枠をつくったようなので、こういうのを林野庁として押してほしいと思います。</li> <li>◆資格を取った時の待遇とかをもっと知りたい。(給与など)</li> <li>◆林野、森の保全、効果的な経営には人材が必要です。</li> <li>◆人材が少ないのでは。あと200人ぐらい日本の林業のために森林総合監理士がいるのでは。</li> <li>◆人材の育成のために、森林技術総合研究所や各森林管理局において、地方公共団体職員との合同研修を含めて、さまざまな研修を実施していることに興味をひかれました。</li> <li>◆国有林事業職員も研修があることに驚きました。合同研修で、さまざまな事を学んでほしいと思いました。</li> <li>◆日本の優れた財産である森林や林業を生かすには、森に興味を持ち、森を愛する人材が育つことが基本である。</li> <li>◆林業だけでは生活していけないので、人材離れが進んでいる。そこで、魅力ある林野にして人材を育成して欲しいから。</li> <li>◆どの分野、職種において人材育成「待ったなし」。</li> <li>◆森林、林業に関する専門的かつ幅広い知識や技術等の必要性。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆前項の9と併せて地域振興に活力を与えてほしいです。</li> <li>◆林道の一般開放には賛成する。</li> <li>◆林道及び森林作業道は生活道路としての道でもあるため、今後とも維持管理に努めてほしいものです。</li> <li>◆災害発生での整備について、林野では森林管理局の範疇である事は少し驚きました。二年に一回、全国の各地の航空写真を国土地理院が作成しているらしい事は知っていましたが無人機やドローンが活躍する時代になるのでしょうか。</li> <li>◆「民有林支援協定」できれば省庁を超えて協力していただきたい。</li> <li>◆P102の事例どおりと思います。</li> <li>◆災害が起こってからの支援はもちろんですが事前に防ぐまたは最小限に留めるためのサポートをしてもらえたらと思います。</li> <li>◆地域の財産として活用できる様に地域の方と共同で進めて頂きたい。</li> <li>◆森林と国民の暮らしは、非常に密な関係にあると思いますが、目を向けるのは災害時のみです。「林野」や「こだま通信」など、もっと身近で手に入れられる環境、目に触れる環境、広報力の増強を期待します。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆早く復旧できるように力をつくしてほしい。</li> <li>◆今、日本人として考えねばならぬことで、大切な事だと思う。</li> <li>◆上記については、個人でも何か出来ることはないかと思っているが、このような大きな組織であつたら、被災地が望む支援が出来るだろう。</li> <li>◆いつ、どこで起こるか分からないです。次は南海トラフ・・・自分の所です。</li> <li>◆民間団体との連携による海岸防災林の再生。</li> <li>◆国にしかできないことと思います。今後とも継続してほしい。</li> <li>◆東日本大震災からの復旧・復興への貢献に、国有林野事業は地域の期待に応えた取組を行ってきたと、冒頭に書かれているが、本当にそうだと思う。被災した海岸の防災林を復旧・再生すべく事業が継続的に実施されたことが108ページの写真で証明されている。海岸近くの工事前、工事後、そして植栽4年後の状況と、写真にその都度の情景を記録することの重要性も改めて認識した。またこの整備の際には、NPOや民間団体との連携があつたとのことである。民間の手を借りること、ボランティアの手を借りることの大切さも感じた。自分も近い場所であれば、きっと植樹に参加させてもらったと思う。</li> <li>◆復旧・復興・・・そして発展となりますように。</li> <li>◆P107の仙台署、宮城北部署における「社会貢献の森」協定締結状況表では、協定締結者数が年々減少していることに疑問と共に残念に感じています。減少の理由は何か？知りたいと思いました。</li> <li>◆東日本大震災からの復旧・復興作業での事例は、事業開始前、後の写真が掲載されていて良く分かる。</li> <li>◆盛土の状況、規模が不明(津波への対策が良くわからない)</li> </ul>
④	意見無し



## II 国有林モニター事業について

質問11 毎月、林野庁情報誌「林野」や局広報誌「森のひろば」を送付させていただいておりますが、ご要望や改善すべき点などがございましたらご記入ください。

### その1

◆送られてきた情報誌を見て、いろいろ活動している事を知り得ましたが、モニター以外の方たちはどこかで入手することが出来るのでしょうか。

◆毎回拝読させていただいておりますが、我石川県の現状と比べ、何か実感が伴わない。モニターではありますが、本県ではどんな事をしているのか全く知りません。

◆見やすく良いと思います。モニター終了後も見る事が出来ればと希望します。

◆国有林モニターで参加したときの意見がきちんと反映されていたのが嬉しく思いました。また、今年東農大の森林に合格した生徒にも両方読ませて、入試の時に活かすことが出来ました。今年度以降もいろいろな話題を提供してほしいと思います。

◆毎回、楽しみにして読んでいます。

◆もっと幅広く知ってもらう方法に費用をかけた方が良いと思います。

◆ターゲットが「主婦」、「女子」、「子ども」ではない様に感じます。読んで楽しいと思う人の意見・解説に興味がある。

◆とても分かりやすいので、このままで良いと思います。

◆一目で見て分かりやすく、関心が向かうようなパンフレット作りを！（文字が多い）

◆ありがとうございます。ただ、写真を多く入れたいのは分かりませんが、小さすぎて見にくいところもありました。

◆世の中を見る目と考える力が養われ、得るものが多かった。

◆とてもいいと思いますが、これらの情報誌を神戸の区民センターや図書館に置いては。前に神戸電鉄も関心が無かったのが図書館に置いてもらって人々の関心をひくようになった。出来れば、もっと人が集まるところに置いてほしい。また、1回だけの国有林モニターなどを作り、ピクニック感覚で1日だけ国有林を歩いてもらうイベントをしては。そうすればもっと情報も伝わるし、軽い気持ちで沢山の人が集まるのでは。あと、スーパーの植樹イベントに行ったら楽しかったので、スーパーやデパートの景品に植樹するイベントを近畿中国森林管理局がしては。

◆大変満足している。送付されることで国有林モニターとしての自覚が深まった。モニターだけの目にとどめるのはもったいない！！

◆いつもありがとうございました。情報を得ることが出来て有意義でした。

◆特になし。非常にわかりやすい文章・イラストで興味が持てますし、仕事のうえでも、文章の書き方・教え方について参考にさせていただいております。

◆国有林野について、毎号配布してもらえる「林野」「森のひろば」「こだま通信」から今迄知らなかったことを教えてもらったり、考えることができた。国有林野の豆知識、継続されて実施されている事業、今後につながる事業の紹介されていた。知らなかった事業に驚いたり、頭が下がる思いも多々あった。モニターに参加したからこそ、以上のようなことを知ったり考えたりすることができた。従って、そのような経験を他の多くの方々にもしてもらえると、国有林野に対する認識が広がり、将来に向けてのアイデアも多く集まると思う。モニター事業の有効性はよくわかった。

◆見やすく、手に取りやすい印象ですが、まだまだ専門性が高く、よりわかりやすくしていただくとアンケートも書きやすくなると思います。（勉強不足ですいません。）

◆「林野」で日本全国、「森のひろば」で近畿中国地方の国有林の現状や、産業育成の様子がうかがわれ、理解と興味が進んだように思います。

◆とてもよくできていて、特に改善する事は無いと思いました。

◆「こだま通信」「森のひろば」「林野」においては、以前に比べて、写真や参加者の声も多く取り入れられており、大変読みやすくなったと思います。

◆今のままでとても分かりやすいです。「森のひろば」で菖蒲谷区域の被災状況と復旧状況の写真がありますが、とてもきれいにされていて、一番感動したのは、きちんと草が生えていることです。とても被災した場所とは思えないです。

◆多くの人に読んでいただきたい。

質問11 毎月、林野庁情報誌「林野」や局広報誌「森のひろば」を送付させていただいておりますが、ご要望や改善すべき点などがございましたらご記入ください。

その2

◆難しい漢字には(ひらがな)フリガナが付けられ、専門用語も出来るだけ使わない点に配慮がなされていると思います。一方で文章が硬すぎる。内容が硬すぎて、読むだけでイメージが湧かない。想像できないとも思う部分があり、改善できないかと思います。

◆国有林や森林、林業に直接関係のない私にも大変わかりやすく、また興味の湧くテーマをお送りいただき感謝しています。今後、民有林も含めた森林の現在のような状況に至った歴史的な経緯や背景の特集も期待しています。

◆いつも読みやすい記事を掲載されています。更に、一目でぱっと活動が手に取るように分かる紙面作りをお願いします。

◆毎月の情報誌の送付、いつも届くのが楽しみにしていますが、もう少し早く届けてほしいと思っています。当方に届くのがいつも月末頃なので、せめて月の中頃にはどうでしょうか。内容については十分ですよ。

◆私の勉強不足もあるのですが、難しい用語や知らない用語が多々あって、もっと勉強しないといけないなと思いました。同時に、もう少し分かりやすい用語であってほしいと思いました。

◆林野行政にも詳しくない一般市民が読むと言うことを強く意識して、読みやすい冊子を編集してもらいたい。編集者はアンテナを多方面に張り、ほんの少しの遊び心が反映できれば、読者も楽しく読めると思う。

◆「林野」「こだま通信」などカラー写真および詳細具体的な説明に満足度100%です。欲を言えば、読者の声も載せていただければ幸いです。今後也大いに活用させていただきます。

◆森林に関することが、様々な角度から分かりやすくして良いと思います。

◆参考にさせていただき、とても分かりやすと思います。

◆効率的な伐採や植林をはじめ病虫害対策や森林のメンテナンスや森林資源に関する活動など多岐にわたる取り組みを木をみて森が垣間見える印象を受けました。皆様が日夜に亘り、取り組んでいる業務が課題なのだという事が表裏一体になっていると感じます。「林野」「森のひろば」は明るい未来展望の記事なので事故や課題、困難な事例の記載も記載してほしいと感じました。

◆森のひろばは各地での活動の様子がよく分かります。林野はデータやアウトラインがよく分かります。

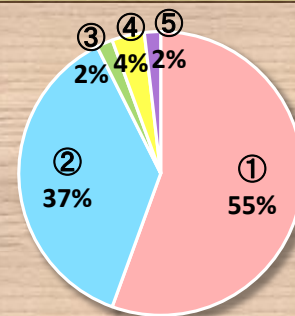
◆「森のひろば」について、もう少し身近な内容もしくは地方ならではの森林の現状や課題がわかるような内容を増やしてほしい。国民に知らせたい内容で国民の協力が必要なことを伝える森林の姿を紹介してほしい。

◆ファイル保管をするが、右綴じ左綴じがありファイル保管しにくい。統一して欲しい。

◆興味ある記事が沢山あり、毎回楽しく読まして頂いています。

◆森のひろばに掲載されているイベント等については、どう発信しどう参加者を募っているのでしょうか。目にしたことはありません。

質問12	今年度の国有林モニター会議にご出席いただく事が出来なかった皆様にも当日の様子をお知らせするため、概要を取りまとめ送付させていただきましたが、その内容等についてお知らせ下さい。		
①	よくわかった	30	55%
②	まあまあわかった	20	37%
③	もう少し詳しく	1	2%
④	もっと詳しく	2	4%
⑤	概要は必要ない	1	2%
計		54	4名無回答



## 【ご意見等】

- ◆写真などもあり、参加されなかった方にもよく分かったのではないのでしょうか。
- ◆詳細に記してあり、分かりやすく良かった。
- ◆参加できる機会を増やしてほしい。
- ◆ネットで動画でやってほしい。
- ◆うまくまとめてくださり、ありがとうございます。
- ◆興味も持たないような分野について、知識が得られました。
- ◆後日届いた概要報告によると、モニター会議の様子がつかめた。ただ、文字が大きく、見やすくはあったが、もう少し文字量が多いのがいいかなと思った。意見交換会の様子、提出された意見ももう少し知りたいと思った。
- ◆ていねいな資料をありがとうございました。
- ◆1問1問ていねいにご回答いただき、ありがとうございました。とても良く分かり、参考になりました。
- ◆モニター会議の様子が写真付きで良く分かり、とても参考になりました。
- ◆参加された皆さんの活発なご意見に、改めて皆さんが国有林をはじめ森林に大きな関心を持っていることを知りました。
- ◆参加出来なかった人にも分かりやすくまとめてあったと思います。
- ◆送付された概要報告は上手に編集されており、良く分かった。
- ◆会議に欠席の人にも、その内容について考えたりでき、内容が伝わりやすいと思います。
- ◆広島でのモニター会議に出席していますので。
- ◆今回モニター会議に参加できなくて残念でしたが当日の様子がある程度解り参考になりました。来年は、是非参加させて頂きたい。
- ◆素人の簡単な質問にも真摯に答えて下さって感謝しています。林野庁の業務の幅、広さに改めて驚きました。



質問13 国有林モニター会議の概要をご覧いただき、出席してみたいと感じられましたか。			
①	ぜひ出席したい	27	51%
②	タイミングが合えば出席したい	25	47%
③	あまり出席したいとは思わない	1	2%
④	出席したくない	0	0%
計		53	5名無回答

A pie chart illustrating the distribution of responses for Question 13. The chart is divided into four segments: a large pink segment for '① 51%', a large light blue segment for '② 47%', a very small light green segment for '③ 2%', and a zero-width segment for '④ 0%'. The chart is set against a light wood-grain background.

【ご意見等】

- ◆やはり現地へ行き、説明を受けること。百聞は一見にしかず。
- ◆現場を実際に見ることで得ることが多いと思います。旅費等のことがあり難しいだろうができるだけ多くの人が出席できると良いと思います。
- ◆色々な人の意見から学ぶ事は多かったですと思います。ぜひ来年度もお願いします。
- ◆今回は欠席せざるを得ず、残念であった。
- ◆せめて「同伴者1名OK」にしていきたい。
- ◆全体会議だけでなく、地域交流、地域や興味ある関心事の分科会で参加者同士の交流も深めたい。今までの全体会議は、長面的形式的にもややもすると考えられます。
- ◆色々な人の意見を聞いてみたいです。
- ◆まずは経験しなければと、是非出席したいと思いました。
- ◆モニター会議には出席する予定であったが、事情があり寸前になり、参加できない旨連絡をした。本当に残念であった。モニター会議の日程は手元にあったので、どのような場所へ行き見学をするか、大体予想することができた。次回機会が与えられれば是非出席したい。
- ◆出来れば、(中高)大学生の参加があれば、将来的に、より国有林の保護と発展に繋がるのではないかと思います。モニターは年齢層を幅広く選ばれたら新たな発見や啓発が有るのではないのでしょうか。
- ◆今回、広島県であったモニター会議に出席しましたが、皆さんとても積極的に発言されていてビックリでした。とても知識や経験の多い方がいらっしやるのだなと思いました。とても有意義なモニター会議でした。
- ◆今年は、広島市のモニター会議に参加させていただき、とても有意義な会議だったと思います。
- ◆開催場所が遠方なので、もう少し近ければぜひ参加したいです。
- ◆会議に出席して、日頃から疑問に感じていること、質問などをしたいと考えています。意見交換を通じて、より深い知識、教養を身につけたいと思います。※仕事の都合上、日程(モニター会議他)の早期連絡をお願いします。(実施する場合は)
- ◆ぜひとも、会議で皆さんのご意見を実際に聞くと共に国有林の現場にも足を運んでみたい。
- ◆来春の退職を機に、ぜひこれからは参加してみたいです。
- ◆モニター一年目は参加予定で楽しみにしていたが、台風接近で中止になり、残念であった。今年は他の用事と重なり不参加。可能ならば、一度は参加したいものだ。
- ◆様々な考えや環境の人々の意見があるので。
- ◆3年間モニターをさせていただきました。28年度のモニター会議が流れたのは残念でした。30年度の1年空けて31年度に再応募したいと思います。私有林を含めて、今後のあり方を見極めたい。
- ◆実際に見る事、感じる事が重要と思います。
- ◆予算や交通手段の関係もあるでしょうが、希望者全員が参加できる様にお願い致します。
- ◆前回9月9日でしたが、西部であればせめて9月中旬以降に開催していただければと思います。やはり暑すぎます。

**質問14**

今年度の国有林モニター会議現地見学会は、シカ被害対策をメインにご見学いただきましたが、来年度実施する際に訪れてみたい場所や見学したい内容がありましたら、お聞かせください。

- ◆山崩れが起きたときに、立木が滑り落ちるように流れた後、どの様な形でどの様に修復するのか、そこが知りたい。
- ◆先のモニター会議では、シカによる森林被害についてパネルを用いて教えていただきましたが、バスにゆられた車中がゆえに、その場所(その場所を教えてください。=我が目で確かめたい。)が良く分かりませんでした。また、その被害状況の写真を配布してもらえたら有難いです。
- ◆国有林の保全する現場の様子を見たいと思います。
- ◆実際に我々が木を伐ってみたいすることも必要だと思います。災害対策なども見てみたいです。
- ◆同じように獣害対策の取り組みを見せていただきたい。
- ◆国有林についてもっと知識が深まる教育をした上で、良いところとまだ改善できていない所の比較がわかる見学会。
- ◆植生の異なる北海道や沖縄、高地など。
- ◆生物多様性の現場。
- ◆国有林内にある山小屋
- ◆シカ対策はとても興味深く熱心に参加できました。その後どんな状況下も取り入れてほしいし、地域現地の人々とも交流したい。
- ◆資料に入っていた写真で、ツリークライミングが楽しそうだった。
- ◆むずかしいと思いますが、食害等で緑が消えてしまって、復活するまでの過程が分かる様な例になる森林が見てみたいです。(本当だったら何百年もかかるかも知れませんが。)
- ◆参加してみて良かったと思いますが、知識が無く、素晴らしい場所が自分では思い浮かびません。
- ◆出来れば神戸市はイノシシの害がすごいので、イノシシの害の対策にして欲しい。
- ◆京都
- ◆森林環境税が必要だとわかる「現場」が見てみたいです。難しいと思いますが、、、
- ◆シカ被害対策の取り組みも実際に見てみたいが、希少種の保護や植生の復元事業が実施されている場所にも足を運びたい。できれば、継続的な事業の結果、復元の様子を目にすることができる場所と、外来種が繁茂する、まだ手つかずの場所との比較もできればうれしい。
- ◆奈良の洞川地区、木曾でのとりくみ(会社、産業と自然の交流、ビジネス)
- ◆せっかくなので、モニターは見るだけでなく、連合滋賀青年委員会の森林保全ボランティアのようにとはいかなくても、ほんの1、2時間だけでも体験林業を実施してはいかがでしょう作業と森林事業の見学の2段階で現場と全体をとらえる一助になるのではないのでしょうか。
- ◆その土地土地の山の木を使用した古民家再生など、ピフォーアフターではないですが、とりあえずこんな風に使っていますというようなのが見たい。特に指定は無いですが、鳥取や島根などがいい。
- ◆森林環境教育の観点から、箕面森林ふれあい推進センターでの見学をしてみたいですね。
- ◆高野山国有林、夜叉ヶ池付近
- ◆鳥取～大阪まで高速バスで出かけます。シカ被害を途中目にしました。
- ◆11月号NO.128の「林野」の森林資源のマテリアル利用に非常に強い関心と興味を感じました。マテリアルの関連施設の見学をしたいと思います。
- ◆「緑の回廊」の具体例の現場
- ◆治水対策や松くい虫対策、良好な森林を低コストで伐採、搬出する作業。
- ◆こだま通信92に記載されている、シイタケの育つ森づくりのような、ボランティア活動をされている拠点を見学してみたいです。
- ◆林野で取り上げている「がんばる市町村」のような林業に先進的に取り組んでいる場所を訪問したい。
- ◆和歌山県南部田辺市のシカによる食害地域を見学したい。(新聞の記事で見ました。)
- ◆鳥取県大山、冬季における山林の管理等。
- ◆病虫害による松の被害現場や病気に強い松を目指す研究施設の見学など。
- ◆石見銀山やサンベ山方面を訪れてみたいです。
- ◆地域住民を対象に実施している森林体験活動やイベントなど
- ◆鳥獣対策の決定打を知りたい、学びたい。
- ◆「緑の回廊整備」や「ふれあいの森」活用の取り組みについて視察を希望します。
- ◆間伐の現場、整備された林道、貴重生物保護の現場、低コスト造林コンテナ苗の植栽地